

# 第3回所沢市放課後児童対策協議会

## 会 議 録

令和6年2月13日

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第3回 所沢市放課後児童対策協議会
開 催 日 時	令和6年2月13日(火) 午後2時00分から 午後4時00分まで
開 催 場 所	市庁舎 高層棟2階 204会議室
出席者の氏名	(会議録別表1)のとおり
欠席者の氏名	多幡 小百合
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 放課後児童クラブの実施状況について (2) 子ども・子育て支援事業計画について (3) 令和7年度以降の放課後児童対策協議会について (4) その他
会 議 資 料	資料1-1 放課後児童クラブの実施状況(全国・所沢市) 資料1-2 令和5年 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況 資料1-3 他市町村の放課後児童クラブ入所申込の条件について 資料1-4 所沢市放課後児童クラブ運営基準(入所選考基準抜粋) 資料2 子ども・子育て支援事業計画について 資料3 令和7年度以降の放課後児童対策協議会について
担 当 部 課 名	こども未来部青少年課 こども未来部長 市來 広美 こども未来部次長 青木 一圭 青少年課 課長 榎本 崇義 副主幹 仲 修一 主 査 猪合 拓馬 主 任 菊地 恭平 電話 04(2998)9103

## 所沢市放課後児童対策協議会委員 名簿

	種別	名前	出欠席 状況	所属等
1	(1) 公募による市民	大西 奈緒	出席	公募
2		多幡 小百合	欠席	公募
3	(2) 関係団体の代表者	高田 美智子	出席	民生委員・児童委員連合会 (吾妻地区会長)
4		渡邊 雄太	出席	P T A 連合会 (美原小学校 P T A 会長)
5		宮寺 敏雄	出席	所沢市スポーツ協会
6		高田 俊一	出席	所沢市文化団体連合会
7		喜多濃 定人	出席	放課後児童健全育成事業者 (社会福祉法人光輪会)
8	(3) 知識経験を有する 者	小沢 貞泰	出席	知識・経験者
9		笹井 宏益	出席	玉川大学学術研究所特任教授
10	(4) 所沢市立小学校の 校長	関根 祐一	出席	所沢市立小中学校校長会 (所沢市立北小学校長)



	<p>件が緩やかであるのは、むしろ先進的なのではないか。</p> <p>また、夏休みの必要性の高さは保護者として感じているところである。入所申込条件を整備することと、夏休みの受入は分けて検討を進めていく必要があると思う。</p>
委員	<p>本当に必要な人が入所できるように点数の分配を検討するのは、学年によって傾斜をつけるのか、それとも就労等の忙しさどちらを重視するか非常に難しいことだと思うので、様々な意見を聞きながら緻密に検討していく必要がある。</p>
会長	<p>ここで出た意見ですぐに制度が変わるものではないが、中長期的には参考にさせていただくことになるかと思う。</p>
委員	<p>受入可能人数を超えた場合の話と夏休み期間の受入が焦点になってくると思う。</p> <p>以前から夏休み期間だけ預かってほしいという意見はあったが、その1つの解決策として、夏休みの最初と最後のそれぞれ約10日間に利用人数が最大になる傾向があるので、この部分をどうにかする必要があったと考えた。ほうかごところは夏休み中は活動していないため、(休業期間である)夏休み期間中に限り施設を貸してもらおうようなことを提案したことがある。事業の実施には、場所だけの問題だけではなく、職員の雇用の問題もあるが、放課後連携事業の中で吸収していくことが解決策の一つとしてあるのではないかと思う。</p> <p>ほうかごところは全校で実施されているわけではないが、解決方法の一つになりえる。</p> <p>また、本当に必要な人に手が行き届いているかどうかを考えるときには、保護者の方で考えるよりも、子どもに手が届いているかどうかを中心に考えていかなくてはいけない。そうした中で何とかできるケースと、どうしても手を差し伸べなくてはならないケースの仕分けをしながら整理していった方がいいと思う。</p>
委員	<p>支援が必要な家庭だが、声を上げられない。声を上げる勇気が出てこないような家庭もあると思う。</p>
委員	<p>実際そうしたケースはあると思う。そういうものだと諦め、情報を探さなくなってしまうと、行政が支援の制度を用意していても辿りつくこ</p>

委員	<p>とができない家庭もある。民生委員が地域で手厚く見てくれても、そういった家庭は0ではないと考えている。</p> <p>そうした自分からは制度に辿り着けないような方たちの担当が私たち民生委員だが、学校との連携が非常に大事で、学校からこの児童を見守ってほしいと相談があれば集中的に見守ることはできるが、親がいない間の面倒を見ることはできないので、関わりには限界がある。</p> <p>また、本当に制度を利用して欲しいと思う人のところには情報は届いていなかったり、伝えたとしても興味を示さないパターンもあり、そういった方に対する対応が難しいところである。</p>
委員	<p>児童クラブは保育料が発生することもあり、保護者のほうでそこまで必要がないと判断することがあるが、中心で考えなくてはいけないのは子どものことであると思う。実際、ほうかごところを利用している子どもで、家庭の事情を考慮すると児童クラブのほうが適切なのではと思うこともあった。</p>
事務局	<p>保護者と子どもの関係において、学校が終わってすぐ保護者と子どもになるのではなく、その間にワンクッション別の大人の目が必要という家庭もある。本市の申込条件が緩やかなことで、そうした家庭に手が届いているという面もある。</p> <p>また、保育料の話が出たが、そういった家庭も利用がしやすいように世帯の課税状況等に基づいて減額又は免除を受けることができる制度がある。</p>
委員	<p>ほうかごところと民生委員間で、気になる子どもについての情報交換はよくしている。</p>
委員	<p>そういった家庭も、コミュニティスクール構想でしっかりと地域の中で拾っていけるようなシステムを作っていかななくてはいけないと思う。</p> <p>また、待機児童がこれだけいるが、あまり児童クラブを必要としていない家庭も登録している。例えば、児童館生活クラブに登録しているが、平日はほうかごところに行く子どももいる。本当に必要な人たちを拾えるようなシステムにしていけないといけない。待機児童がたくさんいるのだから、何かしらの手を打っていかないといけないと思う。</p>

会長	最近、学校でも貧しい家庭の子どもをどうケアするかということで地域に入って動いていると、今までわからなかったことが見えてくる部分がある。こういった問題は家庭の中に入っていかないとわからないものであり、行政が見えてない部分でもあると思う。親の就労や、地域のネットワークや情報交流なども待機児童対策に絡めて考えなくてはいけないと思う。
委員	こういった会議に出ていると、市で色々な支援制度が用意されていることがわかるが、情報を必要な家庭に知ってもらえるようなアピールが必要だと思う。
委員	同じ情報だとしても、制度の周知を対象の世代にターゲットを当てて繰り返し発信するのは一つ方法としてあるのではないか。例えば、以前の子ども子育て会議で、情報の発信にLINE を使ったらどうかという話が出た。子育て世帯に絞って発信ができるのであれば情報が届きやすくなるのではないか。
会長	議事(1)について、他に意見や質問はあるか。
委員	～特になし～
会長	それでは、議事(1)については以上とする。
会長	続いて、議事(2) 子ども・子育て支援事業計画について、事務局より説明をお願いします。
事務局	～事務局から、資料2に基づき、子ども・子育て支援事業計画について説明～
委員	資料2の11ページのようなデータを基に量の見込みを予測していることは理解したが、それでも来年度の申込人数が予測よりも多い。その上振れの要因はどういったところにあると推測しているのか。
事務局	第1回の協議会でも触れたが、新しくクラブを開設したり、支援単位を増やした学区は申込数が増える傾向にある。議事1にもあったとおり、申込条件が緩やかなこともあって、点数が低い等で申込をあきらめていた方

	<p>が施設整備をしたことで申込をしてくるようなケースがあり、施設整備がニーズを生み出している部分がある。</p> <p>また、経済状況的に共働きをする必要がある家庭が増えているというのもあると思う。</p>
委員	<p>その通りで、今まで2歳から3歳に上がる時に保育園に入る人は少なかったが、ここ最近幼稚園ではなく保育園に入る人が増えてきている。子育て世帯で就労する人が増えてきていて、全国的に幼稚園の定員割れが起きている。</p>
会長	<p>議事(2)について、他に意見や質問はあるか。</p>
委員一同	<p>～特になし～</p>
会長	<p>それでは、議事(2)については以上とする。</p>
会長	<p>続いて、議事(3)令和7年度以降の放課後児童対策協議会について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～事務局から、資料3に基づき、令和7年度以降の放課後児童対策協議会について説明～</p>
会長	<p>議事(3)について、何か意見や質問はあるか。</p>
委員一同	<p>～特になし～</p>
会長	<p>それでは、議事(3)については以上とする。</p>
会長	<p>続いて、議事(4)その他について、事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>2点ある。1点目は、小沢副会長に当協議会を代表して出席いただいている「子ども・子育て会議」が2月に開催されたので、その報告をいただきたい。</p> <p>2点目は、今後のスケジュールについてである。</p>
会長	<p>それでは、1点目の「子ども・子育て会議」の報告を小沢副会長より願</p>



副会長	<p>いする。</p> <p>令和6年2月6日(火)に開催予定であった令和5年度第3回子ども子育て会議は、事前に資料等が郵送で送られてきていたが、雪の影響により開催は中止となった。会議に代わり、「第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画の見直し等」について、任意での意見聴取をする予定とのこと。今日委員から出た意見等を念頭に置きつつ、意見として提出をしようと考えている。</p>
会長	<p>それでは続いて、今後のスケジュールについて事務局より願います。</p>
事務局	<p>次回の第4回放課後児童対策協議会の開催は令和6年7月頃を予定している。具体的な日程はまだ決まっていないので、決まり次第通知にて連絡をする予定。</p>
会長	<p>以上で、本日予定されていた議事は全て終了する。</p> <p>～閉会～</p>